

会計名 一般会計			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	2					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。			主たる内容	○文化財の保存管理に関する業務 ○パンフレット「歴史の小径」の印刷 ○歴史資料等の購入事前調査及び購入				
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	文化財保護法								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の小径」の改定及び増刷 文化財保護審議会委員県外研修（高岡市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 ※椎の木屋敷跡他史跡管理は史跡管理事業へ移行		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の小径」の改定及び増刷 文化財保護審議会委員県外研修 中止 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 中止 		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の小径」の改定及び増刷 歴史資料等の購入事前調査及び購入 全国史跡整備市町村協議会参加 中止 		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の小径」の増刷 歴史資料等の購入事前調査及び購入 全国史跡整備市町村協議会参加 指定文化財報告書の作成準備 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径パンフレット「重原・野田・小垣江編」「井ヶ谷編」を改定、「一ツ木・築地編」を増刷することで、文化財の啓発や史跡めぐりに生かすことができた。 刈谷に関わりのある貴重な歴史資料を購入することができた。 								
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			—	30.0	—	46.0	46.0	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,636	793	2,119	3,865	合計 2,119,402 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	33,000 円		
		一般財源	2,636	793	2,119	3,865	旅費	39,080 円		
	職員人件費 ②		1,155	859	1,196	1,121	需用費	616,000 円		
	総事業費（①+②）		3,791	1,652	3,315	4,986	役務費	3,060 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0								
5年度以降の事業費見込		0								
						委託料	88,000 円			
						備品購入費	1,300,262 円			
						負担金、補助及び交付金	40,000 円			

会計名			文化財保存管理事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	文化財を保護保存し未来へ伝えていく事業であり、文化財保護法に規定されている法的業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種パンフレットについては、印刷製本費のコスト削減を目指し、ホームページ上から閲覧・印刷できるようにしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	文化財の適切な保護や保存は長期的な視点が求められており、愛知県文化財室や文化財保護審議会委員と連携をとって行う必要があることから、市が主体となって行うべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	文化財の啓発普及を図ることで、成果指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を増加させていき、郷土の魅力を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
文化財の啓発は、指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」が目標に達していないため、パンフレット「歴史の小径」などを活用し、市民に地域の文化財の啓発普及に努める。 また歴史博物館を核として、企画展などを通じて地域に眠っている魅力ある文化財の掘り起こしを行い、活用を図る。					

会計名 一般会計			歴史へのいざない展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	企画展「歴史へのいざないー佐藤コレクションの魅力ー」を開催し、郷土史家で資料収集家であった佐藤峻吉とそのコレクション、峻吉が調査・研究した刈谷市北部について学ぶ機会を提供する。				主たる内容	○企画展の開催 会期 令和3年4月24日～6月6日（38日間） 入場料 無料			
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	文化財保護法、博物館法								
	対象者	対象を限定せず				事業期間	令和3年度 ～ 令和3年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	元年度実績		2年度実績		3年度実績			4年度計画	
		—		—		・講演会 2回 ・展示説明会 1回 ・ギャラリートーク 2回 ・会期中クイズラリーを実施 ・会期中体験・工作イベントを実施			—	
成果		刈谷市の文化財保護行に携わり、歴史資料の収集しその保存・継承に寄与した故佐藤峻吉のコレクションを紹介したことで、市民に文化財や歴史資料の保存・継承への意識を促すことができた。任意の博物館・美術館等がインターネット上で実施する「うちミュージアム」企画に参加し、コロナ禍での情報発信、自宅でダウンロード可能な体験キットの提供といった新たな試みを実施することができた。								
課題		新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、会期の半分以上（5月12日～6月6日）が緊急事態宣言と重なり、積極的に宣伝・集客を進めることができなかった。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		入場者数（人）			—	—	3,259	—	—	
活動指標		講演会参加者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（％）			—	—	91.1	—	—	
他市との比較検証		当館と同等面積の企画展示室を保有している近隣市は知立市と東浦町であるが、年1回程度しか企画展を開催していないため、当館との比較は難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	4,105	0	合計 4,104,992 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報酬 826,336 円			
		一般財源	0	0	4,105	0	報償費 77,326 円			
	職員人件費 ②		0	0	2,392	0	旅費 47,330 円			
	総事業費（①+②）		0	0	6,497	0	役務費 550,000 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	3年度特定財源名称				
		3年度までの累積事業費			0					
5年度以降の事業費見込			0							

会計名			歴史へのいざない展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐと共に、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市立の博物館において魅力ある企画展を開催することは、郷土の歴史への愛着を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遠方他館で所蔵されている普段は目に触れることのできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			戦時下の刈谷展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	13					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史の啓発						
	目的	企画展「戦時下の刈谷一人びとの暮らしと記憶」を開催し、刈谷やその周辺の地域の戦時下の生活や歴史に関して、学ぶ機会を提供する。	主たる内容	○企画展の開催 会期 令和3年7月17日～8月29日（38日間） 入場料 無料					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	文化財保護法、博物館法						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和3年度 ～ 令和3年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		—		—		・講演会 1回 ・おはなし読み聞かせ会 2回 ・ミュージアムシアター 2回 ・ギャラリートーク 3回 ・会期中クイズラリーを実施		—	
成果		戦時下の生活について、当時のプロパガンダ用のポスターや代用品等の実物を借用展示することで、印象的な展示にすることができた。また、利用者アンケートの結果から、過半数以上の入場者に「とてもよかった」と評価された。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標		入場者数（人）		—	—	4,099	—	—	
成果指標		来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）		—	—	93.5	—	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	5,003	0	合計	5,003,470 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報酬	818,958 円	
		一般財源	0	0	5,003	0	報償費	80,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	3,149	0	旅費	23,670 円	
	総事業費（①+②）		0	0	8,152	0	需用費	690,132 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	3年度特定財源名称				
		3年度までの累積事業費		0					
5年度以降の事業費見込		0							
						役務費	548,900 円		
						委託料	2,841,810 円		

会計名			戦時下の刈谷展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐと共に、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市立の博物館において魅力ある企画展を開催することは、郷土の歴史への愛着を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	過去同時期に開催した企画展よりも、来館者アンケートの満足度が向上し、より多くの市民の興味関心をひくことができた。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			豊臣秀次展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	企画展「豊臣秀次展—刈谷に新時代をもたらした関白殿下—」を開催し、刈谷に新時代をもたらした豊臣秀次やその時代に関して学ぶ機会を提供する。	主たる内容	○企画展の開催 会期 令和3年10月9日～11月21日（38日間） 入場料 一般（高校生以上） 300円 中学生以下・障害者 無料						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
			根拠法令	文化財保護法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和3年度 ～ 令和3年度				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 課題 O 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		—		—		・講演会 2回 ・展示説明会 1回 ・ギャラリートーク 4回		—		
成果		重要文化財を借用・展示し、公開承認施設認定に必要な実績を積み重ねるとともに、多くの市民に文化財の質の高さや歴史的価値を伝えることができた。刈谷の歴史として認知されていない歴史的事実を市民に示すことができた。								
課題		企画展の運営方法において、より時間効率の良い進め方を検討する必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
活動指標	入場者数（人）		—	—	3,522	—	—			
活動指標	来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）		—	—	84.0	—	—			
他市との比較検証	当館と同等面積の企画展示室を保有している近隣市は知立市と東浦町であるが、年1回程度しか企画展を開催しないため、当館との比較は難しい。									
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	10,186	0	合計	10,185,574 円		
	財源	特定財源	0	0	1,294	0	報酬	1,062,432 円		
		一般財源	0	0	8,892	0	報償費	119,140 円		
	職員人件費 ②		0	0	3,149	0	旅費	187,540 円		
	総事業費（①+②）		0	0	13,335	0	需用費	2,598,827 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0		入場料 冊子等頒布収入						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名			豊臣秀次展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐと共に、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市立の博物館において魅力ある企画展を開催することは、郷土の歴史への愛着を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	重要文化財をはじめ、普段は目に触れることのできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては一定のコストがかかるため、展示内容によっては入場料を設定し、一部受益者負担によって賄う。					

会計名 一般会計			参加・体験型歴史文化教育普及事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	13					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	市民が歴史文化を学ぶ機会を創出し、郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育む。			主たる内容	○市内中学1年生向けの歴史博物館見学 ○歴史体験講座の開催 ○簡単工作の実施 ○甲冑試着体験の開催 ○古文書解説講座の開催			
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
	根拠法令	社会教育法、博物館法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・市内中学1年生見学 1,376人 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催		・市内中学1年生見学 中止 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験 中止 ・ミュージアムシアター開催		・市内中学1年生見学 1,177人 中止1校 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・ミュージアムシアター開催 ・甲冑まつり開催 ・古文書解説講座の開催		・市内中学1年生見学 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・ミニシアターの上映 ・マジックショーの開催 ・古文書解説講座の開催	
成果		児童向けお便りの配布を小学校に依頼し、広報活動に力を入れた結果、工作の体験者数の増加を図ることができた。また、歴史体験講座では、人気のある講座を選定して行ったため、ほとんどの講座で空席なく開催でき、利用者のニーズにあった講座を開催することができた。							
課題		当日先着順にて行った講座では参加希望者が殺到してしまったため、分散して来館してもらうよう工夫が必要だった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標		簡単工作参加者数（人）			—	1,172	1,584	1,600	1,600
成果指標		歴史体験講座受講者数（人）			220	240	319	330	330
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,790	1,143	3,158	6,329	合計 3,158,144 円		
	財源	特定財源	119	28	191	466	報償費	78,000 円	
		一般財源	3,671	1,115	2,967	5,863	需用費	700,168 円	
	職員人件費 ②		5,237	1,045	4,944	4,985	委託料	2,258,976 円	
	総事業費（①+②）		9,027	2,188	8,102	11,314	使用料及び賃借料	121,000 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0		簡単工作参加料、講座受講料、文化芸術振興費補助金（国）			
		5年度以降の事業費見込		0					

会計名			参加・体験型歴史文化教育普及事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	博物館における教育普及活動は、博物館法第3条において博物館が行う事業の一つとして明記されており、必要性の高い事業である。また、中学校学習指導要領（社会科）において、「博物館、郷土資料館などの地域の施設の活用」が挙げられており、学校教育上必要な事業でもある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	学校見学については、指導主事と学芸員が連携して行い、継続して実施することで質の向上に努めている。また、歴史体験講座等については、業務委託で行っており、最大の効果を出せる状況にある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	学校見学においては、現場を熟知している指導主事が学校と博物館の橋渡し役を務めている。また、歴史体験講座等においても学芸員の経験等が求められることから、市が主体となって実施するのが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	教科書に載っていない地域の歴史を伝える施設は市内においても他にあるが、刈谷の歴史を総合的に伝える施設は博物館以外になく、市民に地元への愛着を持っていただく役割が期待されている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
学校との連携に関しては、昨年度学習指導要領の改定があったため内容を更新しているが、より効果の高い形を求めていく必要がある。また、来年度の改正博物館法の施行に向け、より資料を身近に感じていただけるよう、インターネットやデジタル端末の活用を進めていく必要がある。					

会計名		市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	歴史博物館		
款	項					目	担当係	歴史博物館	
10	5					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	歴史に関わる資料の調査・整理を行うことで、歴史資料の保存と活用を図る。			主たる内容	市内外における歴史資料を調査・整理し、目録を作成する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成7年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
B 事業実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
	・資料調査の実施 13回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 14回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 16回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		
	成果	・資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理できた。 ・整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 ・マイクロフィルムの紙焼きを進め、市民が閲覧できる環境を整えた。 ・新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。							
	課題	新しい資料整理に時間を要しているため、今後その資料内容の分析を行う必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	活動指標	調査回数（回）			13	14	16	15	15
	活動指標								
他市との比較検証	名古屋市や安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,949	5,649	7,578	8,910	合計	7,577,588 円	
	財源	特定財源	185	76	140	49	報酬	4,380,016 円	
		一般財源	4,764	5,573	7,438	8,861	職員手当等	749,504 円	
	職員人件費 ②		3,196	2,389	3,240	3,924	旅費	56,440 円	
	総事業費（①+②）		8,145	8,038	10,818	12,834	需用費	2,385,028 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
5年度以降の事業費見込		0							
交付金		6,600 円							

会計名			埋蔵文化財調査整理事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	歴史博物館			
款	項	目					担当係	歴史博物館			
10	5	2									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用								
	目的	埋蔵文化財の保存・活用を図る。			主たる内容	試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した遺物および調査記録を整理・保存する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
			根拠法令	文化財保護法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画			
		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 388件 ・試掘・確認調査 30件 ・工事立会 30件 ・緊急発掘調査 3件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 408件 ・試掘・確認調査 25件 ・工事立会 22件 ・緊急発掘調査 1件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 563件 ・試掘・確認調査 23件 ・工事立会 20件 ・緊急発掘調査 0件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 400件 ・試掘・確認調査 30件 ・工事立会 30件 ・緊急発掘調査 2件			
成果		緊急発掘調査こそなかったが、野田貝塚の確認調査では地権者や庁内関係部署と調整を図り、比較的規模の大きな調査を迅速に実施することができた。また、井ヶ谷古窯群の分布調査では愛知教育大学との調整や作業員（考古学専攻の大学生・大学院生）の雇用など、計画的に実施することができた。試掘・確認調査の出土遺物についてはすべて1次整理まで実施することができ、分布調査分については2次整理まで進めることができた。									
課題		例年に比べては少なかったが、民間確認申請の案件で、文化財保護法に基づく発掘届が提出されないまま工事に着手しかけた事例があったため、埋蔵文化財の取扱い手続きの周知については今後も継続して力を注いでいく必要がある。									
指標名称（単位）					実績値		目標値				
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		1次整理作業実施率（％）				100	100	100	100	100	
活動指標		2次整理作業実施件数（件）				1	2	2	2	2	
他市との比較検証		・安城市では、埋蔵文化財の有無照会をはじめとする業務を基本的に歴史博物館で行っている。また、博物館では展示等を行う学芸係と発掘調査を含む文化財調査を行う文化財係に分かれている。 ・西尾市では、遺跡地図をGISで公開している。									
C 事業コスト		単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳				
	事業費①	9,488	10,553	12,022	18,721	合計	12,021,944 円				
	財源	特定財源	24	11	1,027	30	報酬	8,568,488 円			
		一般財源	9,464	10,542	10,995	18,691	職員手当等	720,116 円			
	職員人件費②	5,507	3,098	6,950	8,469	報償費	12,800 円				
	総事業費（①+②）	14,995	13,651	18,972	27,190	旅費	361,750 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		3年度特定財源名称						
3年度までの累積事業費		0		埋蔵文化財緊急調査費補助金（国）							
5年度以降の事業費見込		0		冊子等頒布収入							

会計名 一般会計			文化財保存事業費補助事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	2					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	市指定文化財を適正に保存・管理し、文化財を後世に伝える。	主たる内容	○市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助 ○市指定文化財「野田村古文書」等を保管する野田史料館に対する修繕料の補助						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱						
		対象者	指定文化財の所有者	事業期間	～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財「静観堂屏風」の修復費に対する補助 市指定文化財「小垣江の山車」の幕の更新に対する補助 市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助 		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助		<ul style="list-style-type: none"> 市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助 市指定文化財「野田村古文書」を保管する野田史料館に対する修繕料の補助 		
成果		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対して事業費の1/2を補助することで、貴重な文化財を良好な状態で後世に残すことができるよう支援することができた。								
課題		個人や団体等が所有する指定文化財の保存状態等の把握に関して、聞き取り確認やアドバイスを行うことのできる機会をもっと設ける必要がある。								
O 計画 V	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
	活動指標	補助件数（件）			3	1	1	2	—	
	指標									
他市との比較検証	近隣市の市指定文化財保存事業費補助金交付割合 ・文化財収蔵施設の建設（改修含む） 安城市… 1/3以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…1000万以内 ・無形民俗文化財の道具の修繕 安城市…10/10以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…上限なし									
C 事業 コスト	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳				
	事業費 ①	11,576	108	80	931	合計		80,000 円		
	財源	特定財源	300	0	0	0	負担金、補助及び交付金		80,000 円	
		一般財源	11,276	108	80	931				
	職員人件費 ②	1,348	112	136	136					
	総事業費（①+②）	12,924	220	216	1,067					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	3年度特定財源名称						
	3年度までの累積事業費		0							
	5年度以降の事業費見込		0							

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	歴史博物館	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	5	2							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が本市の文化財や歴史に気軽に触れ、学ぶことができる機会を提供することで、文化財の活用と歴史の啓発を図る。			主たる内容	○史跡めぐりの開催（年3回） ○市内学校の授業等に伴う歴史文化の学習支援			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	社会教育法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 O 実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（1回：城下町コース※雨天、新型コロナウイルスの影響で2回は中止） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（2回：野田・半城土コース、重原コース※新型コロナウイルスの影響で1回は中止） 小学3年生体験学習における案内、説明 中止 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（1回：築地・恩田コース※新型コロナウイルスの影響で2回は中止） 小学3年生体験学習における案内、説明 中止 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：城下町コース、鎌倉街道コース、小垣江コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 	
成果		刈谷ふるさとガイドボランティアの会会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心を持って活動している結果、史跡めぐり参加者からは好評をいただき、アンケートの結果からは半数以上の参加者から満足、9割以上の参加者から「また参加したい」との評価を得た。							
課題		参加者の増加に伴い、駐車スペースの確保が課題となってきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標		史跡めぐりの参加者数（人） （令和2年度より定員80人→50人に変更）			61	87	42	150	150
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			—	30.0	—	46.0	46.0
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	182	143	182	合計	143,328 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,131 円	
		一般財源	0	182	143	182	委託料	134,197 円	
	職員人件費 ②		0	448	628	553			
	総事業費（①+②）		0	630	771	735			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			発掘調査報告書作成事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	2					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	これまでに市内で実施した遺跡の発掘調査について、報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般に公開し、本市の歴史研究の一助とする。			主たる内容	検出遺構や出土遺物に関する記述や考察等の文章データや画像データの作成・編集と報告書の印刷を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
				本刈谷貝塚発掘調査報告書刊行		中手山貝塚発掘調査報告書刊行		・井ヶ谷古窯跡群分布調査報告書刊行 ・刈谷城跡報告書作成業務委託	
成果		平成10年度に発掘調査を実施した中手山貝塚の成果を広く一般に公開することができた。							
課題		現在は作業スペースや人員の制約で一年度中に1冊の報告書を刊行しているが、未報告のものが多くあるため、刊行のペースアップのために業者への委託を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標		報告書刊行数（冊）			0	1	1	1	2
活動指標		報告書頒布部数（冊）			7	4	12	10	10
他市との比較検証		安城市や豊田市では、発掘調査後数年の内に複数の報告書を刊行している。 ・安城市の令和3年度報告書刊行数 2冊 ・豊田市の令和3年度報告書刊行数 2冊							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	1,676	1,647	10,393	合計 1,647,100 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	150,000 円	
		一般財源	0	1,676	1,647	10,393	需用費	797,500 円	
	職員人件費 ②		0	3,024	6,874	9,151	委託料	699,600 円	
	総事業費（①+②）		0	4,700	8,521	19,544			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	13					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	歴史博物館を適正に維持管理することで、施設の環境を最適に保つ。			主たる内容	建物清掃委託や諸整備の管理業務委託など歴史博物館の維持管理を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画						
			根拠法令	博物館法、文化財保護法、刈谷市歴史博物館条例					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 課題 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 電話交換システム保守管理業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 	
成果		施設、設備等を適切に維持管理することで、歴史資料や文化財を適切に保存・管理することができるとともに、市民に快適な鑑賞環境を提供することができた。							
課題		文化財保管のため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。							
成果指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
活動指標			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
	総入館者数（人）		55,051	22,164	29,062	30,500	33,600		
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		34,520	38,065	42,457	50,173	合計	42,456,661 円	
	財源	特定財源	88	106	50	105	需用費	17,890,901 円	
		一般財源	34,432	37,959	42,407	50,068	役務費	429,536 円	
	職員人件費 ②		3,158	3,509	4,088	3,788	委託料	22,571,377 円	
	総事業費（①+②）		37,678	41,574	46,545	53,961	使用料及び賃借料	107,347 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入 文化芸術振興費補助金					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			収蔵・展示等管理事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	13					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	展示・収蔵品および設備の管理を行うことで、展示品・収蔵品の劣化を防ぐとともに、地域の人々に歴史文化の魅力を提供する。			主たる内容	○歴史ひろば機器保守点検委託 ○お祭りひろば山車・万燈保守管理委託 ○燻蒸業務委託 ○文化財什器製作業務委託 ○展示品・収蔵品撮影委託 ○刀剣類保存作業業務委託			
	位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画 根拠法令 博物館法、文化財保護法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 刀剣収納箱 7件 掛軸収納箱44件 ・展示品・収蔵品撮影委託 神代小町絵巻 1件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱13件 掛軸収納箱33件 ・展示品・収蔵品撮影委託 刀剣ほか 16件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱14件 屏風収納箱 1件 ・展示品・収蔵品撮影委託 奈良絵本伊勢物語ほか 9件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱17件 掛軸収納箱10件 ・展示品・収蔵品撮影委託 刀剣ほか 11件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等	
		成果	・文化財什器である刀剣・掛軸の収納箱の製作により、これまで他の資料と同梱等されていた資料をそれぞれの箱に納めることができ、資料の劣化を防ぐことができた。 ・刀剣類保存作業において、錆等により展示に堪えられなかった刀剣の研磨および保存用白鞘等の製作を行うことで、今後の展示等で活用できる状態になった。						
課題		計画的な撮影スケジュールを策定し、今後の研究や文化財活用に利用できるように画像データを整える必要がある。							
活動指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	文化財什器製作数（件）		51	46	15	27	30		
活動指標	展示品・収蔵品撮影（件）		1	16	9	11	10		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,068	4,329	3,986	4,983	合計	3,985,547 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	109,917 円	
		一般財源	4,068	4,329	3,986	4,983	役務費	1,661 円	
	職員人件費 ②		963	784	1,196	1,197	委託料	3,873,969 円	
	総事業費（①+②）		5,031	5,113	5,182	6,180			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			収蔵品補修事業				担当部	市民活動部			
款	項	目					担当課	歴史博物館			
10	5	13					担当係	歴史博物館			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用								
	目的	市が所有している文化財の修繕を行い、文化財を後世に伝える。			主たる内容	歴史博物館の所蔵資料の修復を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画			
				所蔵資料4点の修復を行った。 ・掛軸「松本奎堂他書幅」 ・掛軸「土井利祐書幅」 ・掛軸「三浦明次書幅」 ・屏風「月僊図屏風」		所蔵資料3点の修復を行った。 ・掛軸「大正新田開墾の沿革」 ・掛軸「澤梅谷筆山水図」 ・掛軸「稲垣錦莊筆百事大吉図」		収蔵資料の修復を行う。 ・屏風「都築華城筆山水図屏風」 ・扁額「千卷舎扁額」			
成果		所蔵資料の修復を行い、市民の財産である文化財を将来へ継承するとともに、展示が可能となった。									
課題		市が所蔵する歴史資料の保存状態の調査をする必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
活動指標		収蔵品修復件数（件）			—	4	3	2	3		
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	4,924	938	1,800	合計		938,300 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		938,300 円		
		一般財源	0	4,924	938	1,800					
	職員人件費 ②		0	411	439	439					
	総事業費（①+②）		0	5,335	1,377	2,239					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	3年度特定財源名称					
		3年度までの累積事業費			0						
5年度以降の事業費見込			0								

会計名 一般会計			収藏品管理システム管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	歴史博物館の収藏品を適切に管理する。			主たる内容	歴史博物館の収藏品管理システムを管理・運用する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画					根拠法令	博物館法	
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		収藏品管理システムによる収藏品データの公開		・収藏品管理システムによる収藏品データの公開 ・収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の導入及び展示解説		・収藏品管理システムによる収藏品データの公開 ・収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」による展示解説に音声ガイドを追加した。		・収藏品管理システムによる収藏品データの公開 ・収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の展示解説		
		成果	・来館者閲覧向けデータベースの整理を行い、来館者の利便性向上に寄与することができた。 ・ポケット学芸員による詳しい展示解説公開に加え、音声ガイドを追加し、さらに刈谷の歴史を利用者にわかりやすく提供することができた。							
課題		・一部の歴史資料及び考古資料の情報が整理しきれていないため、引き続き整理を進める必要がある。 ・現在収藏品管理システムは館内端末でしか閲覧できないため、ホームページ等で公開し、更に利用者の利便性を向上していく必要がある。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
	活動指標	資料閲覧件数（件）			217	100	143	230	230	
活動指標										
C 事業 コスト	他市との比較検証									
	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		468	580	830	517	合計		829,730 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費		96,360 円	
		一般財源	468	580	830	517	委託料		225,500 円	
	職員人件費 ②		578	784	515	515	使用料及び賃借料		396,000 円	
	総事業費（①+②）		1,046	1,364	1,345	1,032	備品購入費		111,870 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
		3年度までの累積事業費		0						
		5年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	令和4年度以降の企画展開催に向けた資料調査・借用交渉及び令和4年春の企画展の印刷物制作を行う。				主たる内容	○令和4年春の企画展のポスター・チラシ・図録のデザイン作成及び印刷 ○令和4年度以降企画展の資料調査及び借用交渉			
	位置づけ	第2次文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	博物館法								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和3年度 ~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		—		—		・令和4年度春季企画展の図録・ポスター・チラシ等作成 ・令和4年度以降企画展の事前調査		・令和5年度春季企画展の図録・ポスター・チラシ等作成 ・令和5年度以降企画展の事前調査		
成果		・令和4年度春季企画展の印刷物を制作したため、会期以前に広報することができた。 ・令和4年度以降の企画展における展示資料の選定を行うことができ、展覧会の質を上げることができた。								
課題		・令和5年度以降の企画展の事前調査を行うことができなかった。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	事前調査を行っている次年度以降開催予定の企画展数（本）				—	—	6	9	9	
活動指標										
他市との比較検証	他施設より資料を借用する企画展を開催している岡崎市美術博物館や安城市歴史博物館では、2～3年後の企画展の事前調査を常に行っている。									
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	5,791	2,801	合計 5,790,790 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 44,000 円			
		一般財源	0	0	5,791	2,801	旅費 356,640 円			
	職員人件費 ②		0	0	1,393	2,076	需用費 2,731,546 円			
	総事業費（①+②）		0	0	7,184	4,877	委託料 2,599,124 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0								
5年度以降の事業費見込		0								